



日々新聞

○内田利之助とてへ去る人の家臣  
 忠勇無双の士一が殿老安藤  
 對馬守・意赴ある訳あは同志  
 の武士四五人相ひ江府城廻  
 坂下より処、其下城を待受け  
 彼外櫻田の水府浪人習ひ又々  
 一同安藤の主従の中へ討込つとも  
 憤勇突戦尽かき相働きし処安藤ハ  
 疾負し共邸へ逃入り利之助ハ其後  
 名乗出く屠腹せしや是を此度

内田利之助  
 嵐瑠笑

嵐瑠笑若大夫の  
 芝居を相勤  
 ひろも又も  
 新藝の誉

芳糸魚  
 功績

世に残る  
 功績  
 芳糸

日々新聞 文庫10-8070-24

